

府民公募型整備事業委員会（京都市域）開催結果

日 時 平成26年8月27日（水）9：55～10：50
 場 所 京都府公館 第5会議室
 委 員 同志社大学政策学部教授 今川 晃（座長）
 京都商工会議所産業振興部長 才寺 篤司（欠席）
 京都市建設局長 藤原 正行（代理出席 山田防災・減災担当局長）
 京都府総務部長 志田 文毅（代理出席 辻村総務調整課長）
 京都府建設交通部長 東川 直正（代理出席 川口副部長）
 京都府教育委員会管理課長 岩城 克己
 京都府警察本部交通規制課長 宮路 正美（代理出席 砂田交通管制センター長）

1 提案状況について

応募状況について報告

- ・京都市域 127 件 （建設関係 36 件、警察関係 88 件、教育関係 1 件、その他 2 件）
- ・府内全体 1,577 件 （建設全体 1,227 件、教育関係 7 件、警察関係 337 件、その他 6 件）

2 事業採択・事業実施報告について

府民提案型事業 37 件について事務局案を提示し、意見を聴取した。また、市町村協働型について、建設案件 7 件について報告を行った。

施設区分	提案総数		今 回 分			
	府民提案型	市町村協働型	府民提案型		市町村協働型	
			事務局案			
			実施する	実施しない		
建設関係	36	8	36	30	6	7
安心・安全整備	35	8	35	29	6	7
景観整備（美化）	1	0	1	1	0	0
教育関係	1	0	1	1	0	0
安心・安全整備	1	0	1	1	0	0
景観整備（美化）	0	0	0	0	0	0
警察関係	88	6	0	0	0	0
安心・安全整備	88	6	0	0	0	0
景観整備（美化）	0	0	0	0	0	0
その他	2	0	0	0	0	0
安心・安全整備	2	0	0	0	0	0
景観整備（美化）	0	0	0	0	0	0
全 体	127	14	37	31	6	7

《委員からの主な意見》

- ・河川の浚渫案件が多いように感じるが、今年のトレンドか？
→ 河川の箇所によって堆積するところとしないところがあり、災害の影響もあって土砂の移動はなかなか読めないところであるが、今年度は割合、堆積傾向が見られている。

- ・工事の着工時期としては災害復旧として扱われるものか？維持管理として扱われるものか？
→ 今年度提案分については、災害復旧事業として該当するものはない見込みであり、規模が小さいものは秋以降、維持管理などで早急に着手していき、その他についても、年明けには着手して参りたい。

- ・兼用護岸に関する提案もあがっていたが、京都市の土木事務所に情報提供は行われているか。
→ すでに京都市に情報提供を行っているところ。

- ・管理用通路の提案のうち、通学路ということで柵を設ける対策を取っている提案があるが、京都市においても通学路対策として柵を設置している事業もある。(京都市)
今後とも市が協力できるところは協力しながら、府市協調で取組を進めていきたい。

- ・樋門の管理はどこが行っているものか。
→ 樋門によって異なるが、本提案にかかる樋門は京都府管理のもの。また、日々の運用は京都市に委託しているところであり、施設の管理・修繕に関しては京都府が行っている。

- ・教育委員会の提案については、ウッドデッキの広さはどれくらいか。またその費用は。
→ 611 m²であり、費用は約2,300万程度と想定している。